

2020年度事業計画の概要（小規模事業経営支援事業費補助金）

団体名： 半田商工会議所

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業計画 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | 備考 | | |
|-------------|--|--|--------------------------------|------|----------------|------|---------------|------|------|--|
| | | | | 目標① | | 目標② | | | | |
| 巡回・窓口相談指導事業 | 地域内事業所の大多数を占め、市内商工業の基盤をなす小規模事業者の持続的発展に努める。また、創業・経営革新への積極的な支援・促進を実施する。このため、窓口での相談指導をはじめ、多忙な小規模事業者の対応を高めるべく積極的に巡回相談指導を行い、7年で地域小規模事業者を一巡するとともに、事業所の課題を把握し、解決提案をする事業計画の作成並びに補助金等申請・手続きの伴走型支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 巡回相談指導 5人の経営指導員により、最低限7年に1回は管内小規模事業者を訪問することを基本に巡回指導を行う。また各指導員が課題解決への提案指導事業所を選定し、指導する。 巡回窓口相談指導実事業所数 800事業所（経営指導員5人×160件） 巡回・窓口相談指導延件数 2,000件（経営指導員5人×400件） 課題解決提案件数50件（経営指導員5人×10件） 経営革新承認件数4件 | 小規模事業者 | 指標 | 巡回窓口指導延件数 | 指標 | 課題解決提案件数 | ○ | | |
| | | | | 目標数値 | 2,000 | 実績数値 | 目標数値 | 50 | 実績数値 | |
| 記帳継続指導 | 市内個人小規模事業者の自主記帳能力を養成し、小規模事業者の経営改善に資することを旨とし、記帳から決算申告に至る一貫した記帳継続指導を行う。また、なるべく全案件を電子申告対応としていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 指導事業所数 68事業所 指導延日数 519日 指導延回数 780回 | 小規模事業者 | 指標 | 指導事業所数 | 指標 | 指導延回数 | | | |
| | | | | 目標数値 | 68 | 実績数値 | 目標数値 | 780 | 実績数値 | |
| 講習会等 | 市内事業所の大半を占める小規模事業者が抱える経営上の問題点を解決するために、経営知識の普及の方法として集団講習会を開催し経営の安定を図る。個別講習会は専門家相談を通じて、事業所の課題解決や事業計画策定・実行支援への助言・指導を行う。また、あいち産業振興機構や金融機関等との連携により、事業承継を中心に相談者発掘等行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 集団指導 <ul style="list-style-type: none"> 労務セミナー、簿記初級講座、補助金説明会を含む経営講習会計9回・125人（内経営革新1回・15名） 個別指導 <ul style="list-style-type: none"> 金融・税務・下請・経営・経営実務・企業再生・労務・法律・情報・特許・登記・高齢者雇用相談 計53回・53人 | 小規模事業者 | 指標 | 集団指導年間受講者数 | 指標 | 個別指導年間受講者数 | | | |
| | | | | 目標数値 | 125 | 実績数値 | 目標数値 | 53 | 実績数値 | |
| 創業支援 | 事業者は当地域経済の活力と雇用の維持の源泉を担っている。当地域の事業者数を増やすことで、地域の振興に資する。創業希望者及び創業5年以内の小規模事業者の知識習得、創業計画策定を支援することで、スムーズな開業へと繋いでいく。また、知多ビジネスプランコンテストへの応募を促し、創業計画を支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> 産業競争力強化法に係る創業支援事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 創業窓口相談（巡回相談含む） 延べ件数60件 起業家支援セミナー開催 4日間×6時間 受講者数20人 ハンズオン支援 2件 | 創業希望者及び創業5年以内の小規模事業者 | 指標 | 創業相談延べ件数 | 指標 | 起業家支援セミナー受講者数 | ○ | | |
| | | | | 目標数値 | 60 | 実績数値 | 目標数値 | 20 | 実績数値 | |
| 青年部・女性部事業 | 青年部は次代を担う青年経済人として、若手経営者・後継者・幹部職員等が、人格教養を高め、経営能力の向上と企業の発展を図るため、自己研鑽に資する研修事業と共に、商工会議所活動への参画、協力を通じて地域経済、地域社会の繁栄に貢献する。また、異業種交流の場としての活用で、会員相互の連携と人脈作りへと繋いでいく。また、女性会は、会員の資質向上を図るとともに、女性の視点から職業を通し街の活性化に積極的に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> 【青年部】事業参加率50%以上 <ul style="list-style-type: none"> ◆総会2回（5月、10月）※出席の委任状含む ◆役員会12回（毎月） ◆その他事業開催 <ul style="list-style-type: none"> 研修会3回開催（6月・9月・1月） はんだふれあい産業まつりへの参画（11月） 夢事業の実施（7月・10月・12月） 【女性会】事業参加率50%以上 <ul style="list-style-type: none"> ◆総会1回（4月）※出席の委任状含む ◆役員会12回（毎月） ◆その他事業開催 <ul style="list-style-type: none"> 瀬戸商工会議所女性会視察受入（5月） 愛知県商工会議所女性会連合会総会の参加（7月） はんだ蔵のまち夏まつり会場「ゆかたのお直しコーナー」（8月） 全国大会（岡山県倉敷市）の参加（10月） はんだふれあい産業まつりへの参画（11月） 新年会開催（1月） 会員作品展（喫茶白雲）の企画・運営（2月） ひな祭り事業（3月） | 小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者 | 指標 | 青年部・女性会事業事業参加率 | 指標 | | | | |
| | | | | 目標数値 | 50 | 実績数値 | 目標数値 | 実績数値 | | |

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業計画 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | | | 備考 | |
|--|---|---|----------------------------------|----------|--------------------|----------|-----|----------|---------------------|----------|--|
| | | | | 目標① | | | 目標② | | | | |
| 若手後継者育成事業 （輝く女性経営者の 会社視察、 全国会員総会参加） | 近年、めくるめく速く経営環境は変化しつつある、その中で、家業を引き継ぐ女性経営者が増えている。後継者不足がクローズアップされる中、存続の義務感から経営を引き継ぎ、女性目線で新規事業や改革を実施している。京都の丹山酒造当主長谷川渚氏は、女性では先駆けの杜氏を経て取締役となり、伝統を守りながらも、女性ならではの感性を充分に活かしてニーズを見極め、会社運営に携わっている。酒造を研修見学しながら、個人の長谷川さんという人間性に触れ、その経営手腕を学び、今後の半田商工会議所女性会のさらなる魅力づくりに役立てるような勉強会を実施する。 また、女性のさらなる活躍が求められる中、女性経営者の資質向上や自己研鑽を促すため全国商工会議所女性会連合会関係の研修会へ参加する。 | 【視察】・令和2年9月頃 ・参加対象：半田商工会議所女性会 テーマ：「モノ造りの現場から経営者への輝ける道のりを聴く」 ・視察先：京都 丹山（たんざん）酒造 ・勉強会講師：丹山酒造 当主長谷川渚氏 テーマ：～モノ造りの現場から経営者への輝ける道のりを聴く～ ・参加対象：半田商工会議所女性会員 ・参加目標数：23名 【全国会員総会】令和2年10月23日（金）～24日（土） ・参加対象：半田商工会議所女性会役員3名 ◆アンケート調査結果：100%（回収率） アンケート内容は、参加者が学んだことを女性会事業や個々の事業にどのようにプラスとなったかを集計する。 | 当所の 女性会会員 | 指標 | 事業参加者数 | | | 指標 | アンケート調査結果 | | |
| | | | | 目標 数値 | 26 | 実績 数値 | | 目標 数値 | 100 | 実績 数値 | |
| 若手後継者育成事業 （経営意識啓発 セミナー） | 中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、消費者ニーズの多様化、価格競争の激化、情報化、国際化の進展等大きく変化している。 青年経済人として、実践的な研修を通じて啓発し合い、自己研鑽を続けることで、自己の成長、永続的な自社の発展、更には地域の発展の一助とするため、経営意識啓発セミナーを実施し、先を見据えた経営意識を身に付けられるようにする。 | ◆令和3年1月開催予定 ◆講師：元谷美美子氏（予定） ◆目標数値：参加者数90人 ◆アンケート調査結果：80%以上 ※満足・どちらかといえば満足・どちらかといえば不満・不満の四段階にて、上位2項目の回答率 | 会員事業所の 若手経営者・ 後継者・ 幹部職員 | 指標 | 事業参加者数 | | | 指標 | アンケート調査結果 | | |
| | | | | 目標 数値 | 90 | 実績 数値 | | 目標 数値 | 80 | 実績 数値 | |
| 商店街・街づくり事業 | 市内商店街の衰退が進み、中心市街地の活気が無くなっている。そこで関係団体である商工会議所、中心市街地3商店街、市商連、㈱はんだ賑わいビル開発、㈱トロワ・アバンセの5団体が中心となり商店街の活性化・まちづくりと中心市街地の活性化を推進する。賑わい創出、商業活性化の各種事業の実施により、中心市街地をはじめとする地域の賑わい創出、まちづくりを支援する。 | ・まちなか賑わい創出事業、はんだ商業まつり事業 ・半田市商業施設助成事業（不足業種誘致、新規創業者の推進含む）利用数10事業所 ・知って得するゼミナール事業・受講者数300人 | 中小・小規模 事業者 | 指標 | 半田市商業施設助成事業 利用数 | | | 指標 | 知って得するゼミナール 受講者数 | | |
| | | | | 目標 数値 | 10 | 実績 数値 | | 目標 数値 | 300 | 実績 数値 | |
| 観光振興・ 醸すブランド化事業 | 当地の近代の繁栄を築いてきた産業のひとつである「醸造業」、および生活に根付く「醸造文化」に着目した地域活性化の取り組み「醸-KAMOSU-事業」を生かし、賑わいの創出、販売拡大に繋げることで小規模事業者の振興と経営の安定に寄与。交流人口の増加策を企画し、継続的な事業を実施する。また、地域資源である「半田運河」への年間を通じた誘客を仕掛ける半田市、半田市観光協会等の支援機関と協調し、商品開発支援・販促支援を行い、継続的な仕組みを構築するとともに小規模事業者の「稼ぐ力」づくりを行い、小規模事業者の振興に繋げる。 | ・はんだ醸す等関連事業 参加事業者数45事業者 ・醸すブランド商品開発 3事業者 ・知多半島観光圏協議会への参画 | 中小・小規模 事業者 | 指標 | 事業参加事業者 | | | 指標 | | | |
| | | | | 目標 数値 | 45 | 実績 数値 | | 目標 数値 | | 実績 数値 | |
| 商談会・ ビジネスマッチング 事業 | 展示会や商談会を開催し、市内事業者が参加することにより、事業者の新たな取引先を開拓し、事業の拡大に繋げることを目的とする。事業者の取り組みや新商品等を広く紹介し、ビジネスマッチングの機会を創出する。また、金融機関等との連携を強化し、食のビジネスフェア「あいち知多半島メッセ」に取り組む。 | ・アライアンスパートナー事業（6月） 商談確定数25件 ・メッセナゴヤ2020（11月） ・三河、知多地域商談会（2月） 商談参加数4事業所 ・食のビジネスフェア あいち知多半島メッセ2021（1月） 出展事業所数38 | 中小・小規模 事業者 | 指標 | アラパー事業商談 確定件数 | | | 指標 | ビジネスフェア 出展事業所数 | | |
| | | | | 目標 数値 | 25 | 実績 数値 | | 目標 数値 | 38 | 実績 数値 | |
| 部会・委員会事業 | 最近の企業ニーズに合った事業企画を実施し、事業所のレベルアップを図る。 部会・委員会の会議並びに研修会等を通じて事業所間での異業種交流も図られ、経営改善事業との相乗効果が見込まれ、企業発展に寄与する。 | 部会、委員会の会議・事業を年60回程度開催 | 中小・小規模 事業者 | 指標 | 会議・事業 実施回数 | | | 指標 | | | |
| | | | | 目標 数値 | 60 | 実績 数値 | | 目標 数値 | | 実績 数値 | |

| 事業名 | 事業概要（背景・目的） | 事業計画 | 主たる対象者 | 事業評価 | | | | 備考 | |
|----------------------|--|--|--------------|------|---------------------|------|--|------|--------------------|
| | | | | 目標① | | 目標② | | | |
| 検定等支援事業 | 各種検定試験を実施し、地域の人材育成を支援するほか、地域社会に貢献する。 | 検定試験の開催 （珠算 3回、簿記 3回、リテールマーケティング2回、カラーコーディネーター2回、ビジネス実務法務 2回、福祉住環境コーディネーター 2回、環境社会 2回） 検定受験者数：1,500人 | 中小企業従業員や一般市民 | 指標 | 検定受験者数（人） | | | 指標 | |
| | | | | 目標数値 | 1,500 | 実績数値 | | 目標数値 | |
| 福利厚生事業 | 小規模事業者の健全な経営、雇用を図るため、各種共済制度を普及し、福利厚生の充実を図る。 | 3～5月に実施する「あおぞら共済加入促進キャンペーン」を中心に、1年間の共済新規加入者数：100人 | 中小・小規模事業者 | 指標 | あおぞら共済新規加入者数 | | | 指標 | |
| | | | | 目標数値 | 100 | 実績数値 | | 目標数値 | |
| 労働保険事業 （労働保険事務組合） | 事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を処理することで中小企業事業主の事務負担を軽減するとともに、労働保険の適用促進及び各種制度の推進を図る。 | ・中小事業主の労働保険事務の代行 委託事業場数 目標255事業場 | 小規模事業者 | 指標 | 委託事業所 | | | 指標 | |
| | | | | 目標数値 | 255 | 実績数値 | | 目標数値 | |
| 産業団体等指導事業 | 関係団体の事業を支援し、指導育成を通じて、各事業所の経営力の強化を図る。 | 会議・各産業団体等事務及び事業支援 半田市商店街連合会 7回、日本珠算連盟半田支部 2回、 | 各種団体の会員 | 指標 | 事業実施回数 | | | 指標 | |
| | | | | 目標数値 | 9 | 実績数値 | | 目標数値 | |
| 調査・広報事業 | 内部環境・外部環境の様々な変化が経営に及ぼす影響は大きく、規模の大小を問わず事業者は常にその動向を探り、適応していかななくてはならない。取りまとめた地域の動向・情報を円滑に提供することにより、経営に資していただく。広報では、会報誌『カイギンョゲッポウ』、メールマガジン等を通じて各種情報の発信を行うことで、事業者の経営の方向性を決定する一助を担う。 | ・各種景気動向調査 調査先60事業所 ・中小・小規模事業者の振興に資する広報誌（月刊）の発行 ・インターネットを活用した情報提供、ホームページ年間アクセス75,000件 | 中小・小規模事業者 | 指標 | 景気動向実態調査 調査先事業所数 | | | 指標 | ホームページ 年間アクセス件数 |
| | | | | 目標数値 | 60 | 実績数値 | | 目標数値 | 75,000 |

※記載内容についての資料は、各団体において整備しています。

※備考欄の○は経営発達支援事業として認定を受けた事業です。